

「女子学生のためのキャリアセミナー」開催

日経ウーマニクスプロジェクト

いきいきと幸せに働けるための心得

「成長を後押しする」会社に注目

日経ウーマニクス・プロジェクト実行委員会は2月18日、「女子学生のためのキャリアセミナー」を日経本社（東京・大手町）で開催しました。73人が参加し、社会で活躍する先輩女性からいきいきと働けるための心得を学びました。



講演する日本能率協会の長沼明子さん

最初に日本能率協会の長沼明子さんが講演しました。いきいきと働ける組織として「成長機会とこの支援」に熱心な会社を挙げ、「社員が自発的に考え動いている組織でチャレンジを楽しむことが成長につながる」とエールを送りました。次に日本経済新聞女性面の佐藤珠希副編集長が講演し、女性が幸せに働けるためのポイントを紹介しました。

先輩女性たちの経験談に学ぶ

パネル討論には入社6～10年の女性社員が登壇

協賛



プリンターにロングラン設計
エコタンク搭載プリンターが新登場！

エプソンから、本体側面に大容量インクタンク（エコタンク）を装着したインクジェットプリンターが新登場しました。これまでのインクジェットプリンターとは異なるコンセプトで、2年分※1の大容量インクを同梱し、約11,000ページの大量プリントが可能。同梱インクを使い切った後は、追加のインクボトル購入で1ページ当たり約0.3円（税別）※2と圧倒的な低コストを実現しました。インク交換の手間やインクコストを気にせず、プリントの便利さを思う存分楽しんでください。

※1 「PX-M160T」「S160T」はA4モノクロ文書をひと月当たり300ページ印刷した場合を想定して算出。また、印刷枚数は印刷するデータや環境により変化し、同梱インクで約11,000ページに到達しない場合があります。
 ※2 測定データおよび測定条件については、ホームページをご覧ください。

お問い合わせ
エプソンインフォメーションセンター
050-3155-8700（受付時間 9:00～12:00、13:00～17:30 土日祝・当社指定休日を除く）
http://www.epson.jp/ecotank/



買ってお得 約11,000ページの大容量インクもA4モノクロ11000
使いつづけてお得 印刷コスト約0.3円

「小さなお葬式」の資料請求をした方全員に
エンディングノート無料進呈

追加料金不要のお葬式で好評の「小さなお葬式」が終活に必要なエンディングノートをもれなくプレゼントいたします。「小さなお葬式」は葬儀に必要な物を全て含んだ葬儀プランを19万3千円（税込）で用意しております。葬儀場は全国3,000箇所も利用できます。病院のお迎え～火葬まで必要なものをすべて含んだ定額葬儀プランです。定額葬儀のため追加料金は一切不要です。
 また、経験豊富なスタッフが365日24時間ご相談に応じます。資料をご請求いただいた方全員にエンディングノートと5,000円割引カードをもれなくプレゼントしております。この機会にお問い合わせください。

お問い合わせ 「小さなお葬式」 0120-550-762（24時間365日対応）
FAX 06-6226-7864（①住所②氏名③電話番号④希望の葬儀エリアをご記入ください。※ご記入いただいた個人情報をご本人の承諾なく本件以外には使用しません。）
ユニクエストオンライン



「小さなお葬式」 検索

〈大和証券Presents〉日経ウーマニクス・プロジェクトセミナー

「しなやかに自然体で
～次代の女性リーダーとは

日経ウーマニクスプロジェクト

が開催されました。

女性が生き生きと活躍できる環境づくりを応援する「日経ウーマニクス・プロジェクト」。3月5日（土）、同プロジェクト年間パートナーの大和証券は「大和スカイホール」（東京都千代田区）にて、「しなやかに自然体で～次代の女性リーダーとは」と題するセミナーを開催しました。昨年に続き2回目となる今回も多数の女性経営者、女性役員らが参加。求められる女性リーダー像についての議論を熱心に聞く姿が目立ったほか、参加者同士が活発に情報交換する様子が印象的でした。

和やかに軽やかに考える
女性リーダーの姿

土曜日の午後ということもあり、受け付けをすませた女性経営者や女性役員の方々は、好みのウェルカムドリンクを手に、忙しい日常をしばし忘れて



談笑しています。緊張感漂う通常のビジネスセミナーとは異なり、リラックスした雰囲気の中で開会。早稲田大学ビジネススクール教授 内田和成氏のキートンスピーチが始まりました。「管理する人からチームを導く人へ：新しいリーダーに求められるもの」と題し、多様な人脈や過去の勤務、経営経験を踏まえつつ、軽妙に持論を展開。「やる気のスイッチ」をキーワードとして、時にスポーツを例しながら、チーム作りや部下に力を発揮させる手法、今求められる女性リーダーの姿を明らかにしていきました。
 続くパネルディスカッション「エグゼクティブ成功の必要条件 “セルフプロデュース力” を高めるコツ

主催＝大和証券 企画協力＝日経ウーマニクス・プロジェクト

～内（ココロ）を整え、外（見た目）を磨こう！」には、心理学や行動科学をベースに女性の成長を支援する近藤美樹氏と、ニューヨークを拠点にイメージコンサルティングの分野で活躍する日野江都子氏が登壇。内田氏をモデレーターに迎え、オンタイムのさまざまなシーンで必要とされる「内面」と「外見」について、日々の生活の中で取り入れられる具体的な対応の数々を紹介しながら語り合いました。
 最後は、業種ごとに席を分けて交流会を実施。ある人は同じ業界内、またある人は興味のある異業種の参加者と活発に意見交換を行いました。女性リーダーにふさわしい指針についてともに考えることで、今回もとても有意義な時間となりました。

●パネルディスカッション
左から、モデレーターの内田氏、近藤美樹氏、バリュース&ビジョンLLC 執行役員／人材・組織開発コンサルタント 日野江都子氏、リアル コスモポリタン CEO／国際イメージ・コンサルタント



●交流会

大和証券
Daewa Securities

http://www.daiwa.jp/

告

●キートンスピーチ
内田和成氏
早稲田大学大学院商学研究科
早稲田大学ビジネススクール教授



多田国際社会保険労務士事務所
所長 特定社会保険労務士
多田 智子さん

ただとこ 1972年生まれ。中外製薬勤務後、2001年社会保険労務士試験合格。02年社会保険労務士事務所設立（http://www.tk-st.jp/）。06年法政大学大学院イノベーションマネジメント専攻修了、MBA取得。15年ワークライフバランス研究所設立。

開業後1年もしないうちに自分の力不足を再び痛感することになります。クライアントの社長は経営者です。労働法や労務管理の話題以外にも経営者論から時事問題まで毎日意見を求められます。もともと広く勉強しなければと外資、開業3年目で大学院に入学しMBAを取得しました。
 その勉強がどれだけハードだったか想像がつくと思います。月曜から土曜まで曜日によって仕事と学校に行き、夜授業を終わらせて子どもを塾に迎えに行きます。電車で課題図書を読み、夜中にプレゼン資料を作成する日々

育児は人生の時間
両立で高まる管理能力
子どもが小学校に上がると育児はかなり楽になります。落ちて考えている子どもに手が掛かるのは5年くらい。その後定年までの約25年を有意義に過ごすためにキャリアアップや自身のことが大切です。女性は家庭があるから仕事ができないというのは完全な思い込み。フルに働けないのは

開業後1年もしないうちに自分の力不足を再び痛感することになります。クライアントの社長は経営者です。労働法や労務管理の話題以外にも経営者論から時事問題まで毎日意見を求められます。もともと広く勉強しなければと外資、開業3年目で大学院に入学しMBAを取得しました。
 その勉強がどれだけハードだったか想像がつくと思います。月曜から土曜まで曜日によって仕事と学校に行き、夜授業を終わらせて子どもを塾に迎えに行きます。電車で課題図書を読み、夜中にプレゼン資料を作成する日々

開業後1年もしないうちに自分の力不足を再び痛感することになります。クライアントの社長は経営者です。労働法や労務管理の話題以外にも経営者論から時事問題まで毎日意見を求められます。もともと広く勉強しなければと外資、開業3年目で大学院に入学しMBAを取得しました。
 その勉強がどれだけハードだったか想像がつくと思います。月曜から土曜まで曜日によって仕事と学校に行き、夜授業を終わらせて子どもを塾に迎えに行きます。電車で課題図書を読み、夜中にプレゼン資料を作成する日々

仕事、出産、病気、挫折……悩む女性を優しく勇気づける
まるでカウンセリングのようなインタビュー集

寺島しのぶ、上原ひろみ、石川さゆり、竹宮恵子、宮川花子、恩田侑希子、草笛光子……各界で、きら星のように活躍中の21人の女性たちが、試練に直面していた「あの頃」のこと、そして、どのようにしてその試練を乗り越えたかを語ります。聞き手はノンフィクション作家の吉永みち子さん。稿代の聞き上手・吉永さんが、解決に至るまでの内面の動きを、じっくりとときほぐしていきます。読むと心が軽くなる、カウンセリングのようなインタビュー集です。

■「試練は女のダイヤモンド」
吉永みち子著 定価：1,500円（税別）
お問い合わせ ウェッジ 03-5280-0528



http://citizen.jp/attesa

今を変えろ。

未来は変えられる、と人は簡単に言う。でも、そうじゃない。
今を変えなければ、未来は変わらない。この瞬間、全力か。一歩でも前に出ているか。その積み重ねでしか、自分の未来はつくれない。

世界に接む。誰よりも「この瞬間」の力を信じて。

エコ・ドライブGPS衛星電波時計
ATTESA

40 Eco-Drive 40 Years



CITIZEN
BETTER STARTS NOW

Marunouchi Career Academy

丸の内
キャリア塾

丸の内キャリア塾とは、キャリアデザインを考える女性のための実践的学習講座です。毎回、キャリアやライフプランに必要な考え方や行動について多面的に特集しています。
 Facebookページは https://www.facebook.com/marunouchi Twitterアカウントは https://twitter.com/_marunouchi_

LECTURE
164
2016 March

【インタビュー】
多田国際社会保険労務士事務所 所長・特定社会保険労務士 多田 智子さん

女性の人生に多くのドア
自分を高めながら押し開く

労働人口が減少し「働き方」改革が叫ばれるなか、ワークライフバランス（WLB）実現などを支援する社会保険労務士（社労士）の役割が目立っている。専業主婦だった多田智子さんは出産後に一念発起して社労士資格に合格、大学院で経営学修士（MBA）も取得し、現在は海外の日本企業も支援する社労士事務所を経営する。これまでの経験から「女性はライフステージによって自分を変化させる必要がある」と訴える。

TOEIGOOO点、営業経験10年など、自分にはアチーヴする材料がありません。O.O.O、3年の自分のスキルは企業に求められていない。何も考えずに退職したことを初めて痛感しました。悲しんではばかりはられませんが、電車に乗った大きな書店で、いって社会保険労務士という国家資格を知りませんでした。社会や経済が成熟していきながら、お金の面で労働管理の相談をする時代がくる。しかも企業の35%程度は、まだ社労士と契約を結んでいない。参入する余地は十分あると確信しました。
 急いで帰宅し、その日の夜に教材を申し込みました。子どもがいて通学できないので自宅で大量の教材に囲まれながら猛勉強です。朝4時から子どもが目を覚ます6時まで、時間の大切さを感じながら勉強しました。合格後、社労士としての就職が必要でした。社労士事務所の就職面接で「子どもがいるから残業はできないね」と言われました。こどももまた「自分ほめられたいな」と感じてはいけな、以前のようには諦めてはいけな、自分の発想を180度変えようと思いました。
 他人に仕事をやらせようという「残業ができる、できない」の議論になる。自分で仕事を取っていく。子どもが幼稚園に行っている間に営業をしてお客様を取り組む姿に周りにも応援してもらえ、充実した実務経験を積むことができました。

ライフステージごとに
キャリアアップを図る
現在事務所は14年目です。社員18人、クライアント100社。社労士事務所としては大いはいうです。当社の理念は企業の成長を労働管理からサポートすること。特に日本企業の成長に欠かせない海外進出と今後重要な人事戦略に資するWLBの2面に注力しています。
 これまでの経験を振り返ると、反省点の1つは自分の時間があるうちに基礎的スキルを上げておくなかつたこと。エクセルやパワーポイント、ワードを素早く使いこなせれば業務効率は断然上がります。自分の考えをまとめて正確に伝えられる能力も必要です。
 女性はライフステージによって自分を変化させていくことが大切です。
 自分の時間に余裕がある若い頃はたくさん仕事をし、多くの人に会い、いろいろな本を読み、映画を見、スポーツをして経験値を高めることです。基礎的な力を身に付けるのもこの時期です。
 子どもが産まれると一気に自分の時間がなくなります。このキャリアアップの期間に仕事のことを考えるのは無理でしょう。でも、会社は退職せずに育児休暇などを上手に使って仕事を続けるべきです。復職後も子どもとの病気で会社を休むことも出てきます。制度があるから利用するという態度ではなく、周りの方への感謝を忘れず、自分が置かれた状況をきちんと話すことで周囲の理解が深まります。